事例No.	1368
公表年度	R3
団体の属性	複数団体
団体名	岩手県釜石市・大槌町

事例区分	広域連携

タグ	・税財政 ・専門人材の確保 ・事務の共同実施

事例種類	森林整備　自治体間連携

事例内容・タイトル

釜石地方森林整備推進協議会の設立

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

森林整備
自治体間連携

岩手県　釜石市・大槌町（釜石地方森林整備推進協議会の設立）

- 釜石市では、森林経営管理制度を推進するにあたり、岩手県（沿岸広域振興局農林部）と隣接の大槌町とで制度推進のための地域会議を重ねる中で、林業経営体と学識経験者を加えての協議の場を設定することとした。
- 県、市、町に地域の林業事業体の中核である釜石地方森林組合を加え、令和2年度当初より設立に向けた協議を重ね、9月に設立した。
- 令和2年12月に第2回会議を開催し、市、町の森林経営管理意向調査実施計画を提案し、意見を募り、案が了承された。
- 協議会では、林業経営体が企画提案書を作成する上で、地域の森林の将来像を描けるよう、研修の場を設ける。
- 令和３年度は、更に、林業の人材育成のために必要な取り組みを議論し、推進していくこととしている。

□　協議会の目的

○地域特有の森林整備の課題解決の方策について、林業経営体の意見を反映させながら行政と経営体が共有する。
○林業の担い手確保を、行政と経営体が連携して取り組む。
○数十年に及ぶ森林施業に関わる取り組みを確実に継続する。

□　協議会の構成

○森林経営管理法の規定により県が公表する民間林業事業者（参加を希望した経営体のみ）
○学識経験者（岩手大学農学部）
○岩手県沿岸広域振興局農林部
○釜石市、大槌町

□　協議会の運営

釜石地方森林組合に事務局を置き、市、町からの負担金を財源に運営する。

【負　担　金】　釜石市200千円、大槌町70千円
（釜石市の200千円は譲与税を充当。）
【実　　績】　協議会を2回開催し、森林・林業の将来像に関わる意見交換や市、町が行う事業への意見聴取を行った。

□　具体的な取組

令和２年度は以下の取組を行った。

①森林林業の将来像に関わる意見交換

森林整備の現場の課題、森林資源の有効活用、林業の担い手育成のためにどのような方策があるのか、そのために行政と林業経営体がどのように役割分担をするべきか意見交換を実施。

②市、町の行う事業への意見聴取

森林経営管理意向調査実施計画の調査区域設定等の内容、所有者に確認すべき調査内容、経営管理権集積計画に記載する施業方法、路網整備のあり方などについて、林業経営体や学識経験者からの意見聴取を実施。

◇　基礎データ

	釜石市	大槌町
①令和２年度譲与額	41,492千円	12,586千円
②私有林人工林面積（※１）	8,756ha	2,310ha
③林野率（※２）	88%	88%
④人口（※３）	36,802人	11,759人
⑤林業就業者数（※３）	65人	31人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より